

新潟市教育委員会
教育長 前田 秀子 様

笹山小学校の統合についての要望書

平成 30 年 5 月 28 日

コミュニティ木崎村

青葉の候、貴職におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、笹山地域では児童数が減少し、現在3年生と4年生、5年生と6年生が複式学級として、それぞれ一つの学級として学習しており、全校で4学級の小規模校となっています。

そこで、笹山小学校の子どもたちのより良い教育環境について協議し、その具体的方策をとりまとめて提言することを目的として、地域、自治会、PTAや小学校・中学校・未就学児童の保護者の代表者で構成する「笹山小学校地域検討協議会」を立ち上げ、約10か月間に亘り、計8回の協議を重ねて参りました。

この度、検討協議会の結論として、笹山小学校を統合することにより、笹山地域の未来を担う子どもたちのより良い教育環境の実現を目指すとする提言がまとまり、当コミュニティ木崎村に提出されました。当コミュニティ木崎村としても、笹山地域の総意を踏まえ、要望をまとめましたので、その趣旨をご理解いただき、実現に努めていただきたくお願いいたします。

要 望 事 項

- 1 笹山小学校の小規模化によるデメリット解消のため、平成32年4月を目途に、木崎小学校への編入方式で統合すること。
- 2 統合にあたっては、学校間の連携を綿密に図りながら交流活動や教職員人事を計画的に行うなど、円滑な統合に向けて両校児童への十分な配慮と支援を行うこと。
- 3 通学の安心安全を確保するため、遠距離の通学や幹線道路・河川などの横断に危険を伴う場合の対策として、スクールバスを運行すること。また、スクールバスの運行方法や経路などの詳細については、保護者や学校を含めて協議し、統合までに決定すること。
- 4 統合によって、保護者に新たな経済的負担が生じないように配慮すること。
- 5 統合により使用されなくなった学校施設や敷地については、地域の要望や実情を踏まえ、避難所としての機能を確保するなど、コミュニティ木崎村と市当局とで協議を進めていくこと。

また、当協議会では、笹山地域の将来を担う子どものため、今後も地域の教育問題に積極的に取り組んでいきたいと考えておりますので、新潟市及び新潟市教育委員会の積極的なご支援をお願いいたします。

コミュニティ木崎村 会長 小林 勝